

## リニアテクノロジー、新製品「LT8490」を販売開始

太陽光発電アプリケーションで真の最大電力点を能動的に検出する、鉛蓄電池およびリチウム電池向け  
80V 昇降圧バッテリー充電コントローラ

リニアテクノロジー株式会社は、自動最大電力点トラッキング (MPPT) と温度補償を特長とする、鉛蓄電池およびリチウム電池向け同期整流式昇降圧バッテリー充電コントローラ「[LT8490](http://www.linear-tech.co.jp/product/LT8490)」の販売を開始しました。LT8490 は高さの低い (0.75mm) 7mm x 11mm 64ピン QFN パッケージで供給され、E グレードとI グレードのいずれも  $-40^{\circ}\text{C} \sim +125^{\circ}\text{C}$  で動作温度範囲で仕様が規定されています。E グレードの 1,000 個時の参考単価は 10.35 ドルからで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細情報は、リニアテクノロジーの Web サイトをご参照ください ([www.linear-tech.co.jp/product/LT8490](http://www.linear-tech.co.jp/product/LT8490))。

LT8490 は、安定化バッテリー・フロート電圧を上回るまたは下回る入力電圧でも、また安定化バッテリー・フロート電圧と等しい入力電圧でも動作します。LT8490 のフル機能バッテリー・チャージャは、多くの選択可能な定電流/定電圧 (CC-CV) 充電プロファイルを提供するので、密閉型鉛蓄電池、ジェル電池、浸水型電池など、多様なリチウム電池または鉛蓄電池の充電に最適です。あらゆる充電終了アルゴリズムを搭載しているので、ソフトウェアやファームウェアが不要で、結果として設計サイクル時間を短縮します。

LT8490 は、4 個のスイッチによる同期整流と 1 本のインダクタを使用して 6V $\sim$ 80V の広い入力電圧範囲で動作し、1.3V $\sim$ 80V のバッテリー・フロート電圧出力を生成できます。LT8490 は、外付け FET の選択に応じて 10A という大きな充電電流を供給できます。内蔵の MPPT 回路により、ソーラー・パネルの全動作範囲に対応でき、パネルが部分的に日陰になることによって局所的な最大電力点が複数存在する場合でも、真の最大電力点を検出します。真の最大電力点が検出されると、LT8490 はその電力点で動作すると同時に、ディザリング技法を使って局所的な最大電力点の変化に迅速にトラッキングします。この方法により、LT8490 は理想的な動作環境ではなくても、ソーラー・パネルによって生成された電力をフル活用することができます。

LT8490 は、バッテリーの外付けサーミスタを検出することによって、バッテリー充電電圧の自動温度補償を行います。STATUS ピンと FAULT ピンを使用して、LED インジケータ・ランプを駆動することができます。1 本または 2 本の抵抗を使用するだけで充電電流の制限値を調整可能で、適切な抵抗分割器で充電時間スケールを選択できます。この他に、入力および充電電流制限ピン、3.3V の安定化 LDO 出力、状態ピン、同期可能な固定スイッチング周波数などを特長としています。

### LT8490 の主な特長:

- $V_{\text{IN}}$  範囲: 6V $\sim$ 80V
- $V_{\text{BAT}}$  範囲: 1.3V $\sim$ 80V
- 1 本のインダクタで、 $V_{\text{BAT}}$  より高い、低いまたは等しい  $V_{\text{IN}}$  が可能

太陽光発電アプリケーションで真の最大電力点を能動的に検出する、鉛蓄電池およびリチウム電池向け 80V 昇降圧バッテリー充電コントローラ

- 真の最大電力点を検出するための自動トラッキング
- 多くのタイプの鉛蓄電池およびリチウム電池に対応可能
- 状態表示のための LED ドライバ
- バッテリー充電アルゴリズムを搭載
- フロート電圧の自動温度補償
- 入力および出力電流モニタ・ピン
- 同期可能な固定周波数: 100kHz~400kHz
- 64 ピン 7mm x 11mm x 0.75mm QFN パッケージ

フォトキャプション: 太陽光発電用鉛蓄電池およびリチウム電池向けの MPPT 付き 80V バッテリー・チャージャ

Copyright: 2013 Linear Technology Corporation

###

#### リニアテクノロジーについて

S&P 500 の一員であるリニアテクノロジーは、過去 30 年にわたり広範囲に渡る高性能アナログ IC の設計・製造及びマーケティング活動を行い、世界中の多くの企業に提供しています。リニアテクノロジーの半導体は、私たちのアナログ世界と「通信」、「ネットワーキング」、「産業」、「自動車」、「コンピュータ」、「医療」、「精密機器」、「民生」さらには「軍需航空宇宙」システムで幅広く使用されている、デジタル・エレクトロニクスとの架け橋の役目を担っています。リニアテクノロジーは、パワーマネージメント、データ変換、信号調整、RF、インタフェース、 $\mu$ Module サブシステム及びワイヤレス・センサー・ネットワーク製品を設計・製造・販売しています。詳細は同社 Web サイトをご参照ください。

<http://www.linear-tech.co.jp>

LT, LTC, LTM, Burst Mode,  $\mu$ Module, Over-the-Top, LTP 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西(かさい)

Email: [linear-pr@miacis.com](mailto:linear-pr@miacis.com)

記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル 8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291(代表)

<http://www.linear-tech.jp>

本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

[jhamburger@linear.com](mailto:jhamburger@linear.com) 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

[ddickinson@linear.com](mailto:ddickinson@linear.com) 408-432-1900 ext 2233

以上